

奈良県指定文化財(彫刻・建造物)の「災害対策等現況調査」調査票

調査日	2017 年	12 月	16 日	記入者	小倉つき子
調査者名	久門	鈴木	水間	小倉	

調査対象先	円成寺(真言宗御室派)						
所在地	奈良市忍辱山町1273			電話番号	0742-93-0353		
代表者 調査対応者	田畑祐弘住職						
対象文化財	彫刻	県指定:	2 件	国宝:	1 件	重文:	2 件
	建造物	県指定:	件 棟	国宝:	2 件 棟	重文:	3 件 棟

地震対策

①対策の現況	<input type="radio"/> A:実施済 <input checked="" type="radio"/> B:一部実施済 <input type="radio"/> C:未実施	
② ①の回答が A、Bの場合	対策の経緯、 内容	本堂は昭和33年に修復し、本尊を含む重文などの仏像を安置。建築法の踏襲のみで地震など、特別の対策はとっていない。平成29年に国宝大日如来安置のための鉄筋収蔵庫「相應殿」が完成。
	今後の予定	基本的に建造物は地震や自然災害のための対策をとっていないが、昨今の異常気象による風雨の激しさに今後も耐えられるか心配。鉄筋収蔵庫完成で大日如来は災害からは守られるだろう。
	要望	特になし
③ ①の回答が Cの場合	実施して いない理由	<input type="checkbox"/> 対策の必要がない <input type="checkbox"/> 資金が足りない <input type="checkbox"/> その他()
	今後の予定	
	要望	

防火対策

①対策の現況	<input checked="" type="radio"/> A:実施済 <input type="radio"/> B:一部実施済 <input type="radio"/> C:未実施	
② ①の回答が A、Bの場合	対策の経緯、 内容	昭和30年頃に火災報知器を設置。別置きの消火ポンプ室で加圧される防水銃を平成20年頃に設置し、防火対策を充実。避雷針は本堂、楼門、多宝塔の各屋根と、周囲の山の2カ所設置している。
	今後の予定	特になし
	要望	24時間放水銃を加圧するため、維持の電気代がかさむ。補助があれば助かる。
③ ①の回答が Cの場合	実施して いない理由	<input type="checkbox"/> 対策の必要がない <input type="checkbox"/> 資金が足りない <input type="checkbox"/> その他()
	今後の予定	
	要望	

奈良県指定文化財(彫刻・建造物)の「災害対策等現況調査」調査票

調査対象先	円成寺(真言宗御室派)
-------	-------------

獣害・白アリ等の対策		
① 獣害等被害	<input checked="" type="radio"/> A: 経験あり	<input type="radio"/> B: 経験なし
② ①の回答が Aの場合	どのような被害か	シロアリがいたが、薬剤を昭和36年に散布して以来、被害はない。仏像の供物に食べ物のお供えはしない。アライグマが楼門の柱を傷つける。一匹だけ県の捕獲器でとらえたが、以後捕獲なし。
③ 今後	今後の予定、要望	山の中に建つ寺院のため、様々な動物がでてくるが、自然と人が共存共栄しているのだという気持ちで文化財を守っていくしかない。

多宝塔横の消火栓。境内の至る所に消火栓を設置	相應殿入口の放水栓
	

消火ポンプ室の、電気で加圧される放水銃	放水銃の電気スイッチと、その場所を記した境内図
	

楼門の柱を登ろうとした際のアライグマの引っ掻き傷	【調査票記入者(小倉つき子)の感想】
	山の中に建つ寺院ゆえ、昨今の異常気象は気になるものの、「自然とともに存在していく」という住職の思いは共感できる。国宝の仏像には鉄筋収蔵庫を建てておられる。重文など他の仏像にも一層の配慮を期待したい。